

■ 定格

▼発振器

出力周波数	範囲：10mHz～20.00kHz 分解能：100mHz以上は4桁 確度：±×10 ⁻⁵
出力波形	正弦波
高調波ひずみ率	0.3%以下 (1Vrms出力時)
出力レベル	10mVrms～5.0Vrms (出力開放時) 分解能：2桁 確度：±3%
出力インピーダンス	50Ω±2%

▼分析部

チャンネル数	2 (CH-1, CH-2)
入力インピーダンス	1MΩ±1.5% 80pF以下 フロート時のコネクタ外部導体と筐体間の容量： 110pF以下
同相除去比	60dB以上 (信号源インピーダンス0Ω DC～1kHz)
入力レンジ	オートレンジング、最大±14.2V (10Vrms)
耐電圧	±24V (連続) ±35V (1秒間、非繰返し)
分析モード	CH-1/CH-2、CH-1/OSC
遅延時間	0.0～9.99s 分解能：0.1s 確度：(±5%+20ms)
積分回数	1～100 (各チャンネル独立設定)
過大入力検出	10mVrms (2桁、±3%) 各チャンネル独立設定
過大入力表示	警告ランプ点灯
利得表示	範囲：±140dB 分解能：0.01dB
位相表示範囲	-180.00°～+179.99° 0.00°～+359.99° -359.99°～-0.00° 上記より選択、分解能：0.01°

▼測定確度*

1Hz～10kHz	利得：±0.05dB 位相：±0.3°
10mHz～1Hz 10kHz～20kHz	利得：±0.1dB 位相：±0.5

*積分回数1回、両チャンネルとも入力電圧10mVrms以上

▼判定機能

設定範囲	利得：±999.99dB 位相：±999.99° 表示範囲とダイナミックレンジ内で有効
表示	UNDER、GO、OVERランプ表示 利得と位相を独立して表示

▼測定スポット設定

スポット数	10点
設定パラメタ	周波数、出力レベル、積分回数、遅延時間、分析モード、位相表示範囲、過大入力レベル、利得上・下限値、位相上・下限値 スポットごとに独立設定可能

▼GPIB

インターフェース機能	SHI, AHI, T6, L4, SRI, RL2, PPO, DCI, DTO, CO
制御項目	各スポットのパラメタ設定、測定開始指令、測定値の読出し

▼その他

5055との接続	5055シグナルインジェクタプローブを接続可能
電源	AC100/120/220/240V±10%、ただし250Vまで 48～62Hz
消費電力	約60VA
温・湿度範囲	動作：0～40℃ 10～90%RH 結露なきこと 保存：-10～50℃ 10～80%RH 結露なきこと
質量	約9.5kg
メモリバックアップ	3年
付属品	電源ケーブル1 ヒューズ (1A)2 信号ケーブル (BNC-BNC 1m)3

(参考)

測定時間

入力レンジの切換えがない場合、およそ次の値となる

1. スポット切換え時間 約50ms

2. 測定時間 $T = (N_1 + N_2) \times A + B + D$

T : 測定時間

N₁ : CH-1の積分回数

N₂ : CH-2の積分回数

A : 基本データの採取時間

: 100Hz以上：約50ms

10～100Hz 最大150ms

10Hz以下：1周期

B : 安定時間+データ処理時間約260ms

D : 遅延時間 (設定値)